市民シンポジウム「弁護士急増の功罪」
ー就職難の実態と市民への影響ー

昨年１２月に弁護士資格を取った人の２００人近くが「進路未定」となっている可能性があります。在野法曹である弁護士は、自分の生活は自己の弁護士報酬で賄わなければなりません。「仕事はない」「収入がない」という現状と、「人権擁護」「社会正義の実現」という理念との間で、もがき苦しむ弁護士が多くなってくることが予想されています。

他方、「弁護士に頼みたくても頼めない」という声もあるようで、そういう理由などから「弁護士はもっと増やすべき」という意見も耳にします。

そこで、佐賀大学経済学部の三好祐輔准教授による客観的データに基づく研究成果も踏まえて、弁護士の急増が市民にあたえる影響を考えたいと思います。

日　時　　平成２４年１月２６日（木）午後６時～午後８時
場　所　　佐賀大学経済学部４号館５番教室
（正門から入ってすぐ右手奥の建物）
（佐賀市本庄町１番地　TEL0952-28-8133）
参加費　　無料　・　事前申込不要

プログラム

●基調報告「弁護士増員の経過と弁護士業務の実態」
●基調講演「弁護士増員によって訴訟は増えるか」（仮題）
佐賀大学経済学部准教授　三　好　祐　輔　氏
●パネルディスカッション
◆パネリスト
木下壮太郎氏（天吹酒造合資会社常務、佐賀青年会議所理事長）
原　まさ代氏（「消費生活相談員の会さが」事務局長）
岩本　　諭氏（佐賀大学副学長）
三好　祐輔氏（佐賀大学経済学部准教授）
東島　浩幸（佐賀県弁護士会元会長）
◆内容　・弁護士はまだ足りないか
・弁護士急増がもたらす市民への影響　など

主催　佐賀県弁護士会　共催　国立大学法人佐賀大学

お問い合わせ　　佐賀県弁護士会　TEL　０９５２－２４－３４１１